



～江戸時代、つるはしだけで約2kmのトンネルを掘り抜いた偉業～ 地元の農業遺産を体感 「袋野隧道を歩こう」

袋野隧道^{すいどう}は、江戸時代に大庄屋田代重榮^{しげよし}、重仍^{しげより}親子が完成させた全長約2kmのトンネルです。当時、坑夫は筑後川左岸の岸壁から掘り進み、ツルハシなどを使い、人力だけで完遂しました。取水した水は今も、約200ヘクタールの田畑を潤しています。先人の偉業を伝えようと、隧道の中を歩く、3年に1度の体験会が10月7日開催され、小学生など約300人が体感しました。



（写真上）体験会のため、水を落としたトンネル内を歩く参加者。上方は当時のままで、岩盤がむき出しの状態。

当時、サザエの殻に菜種油を入れ、灯火で空洞を照らした様子も再現。

暗闇、固い岩盤、狭い空間・・・、当時の苦労が偲べれます。

（写真下）夜明ダム上流、筑後川左岸の横穴から、トンネルに入る参加者。

（目次）P1 袋野隧道 P2～5 決算 P6 アーティスト・イン・レジデンス P7 人事異動、チャイムが市民の歌
P8 人権セミナー P9 男女共同参画講座 P10 合同公売会、税務署 P11 認知症カフェ、集いの場 P12 佐藤孝三郎翁特別展、学童保育所入所 P13 児童虐待防止、屋外広告物許可 P14 農地の出し手・受け手を募集
P15 火災放送 P16 癒しの旅先案内人紹介、森林セラピー P17 癒しの旅先案内人協会 10 周年 P18 図書館
P19 食育アドバイザー養成修了 P20 まちの話題 P21、22 暮らしの情報 P23 有料広告 P24 誕生日